

自立活動 中学部生徒の取組①

ビジョントレーニングの視点を取り入れ、両手指の協応動作の向上をねらった様々な課題に取り組んでいます。一人一人のねらいに合わせて教材を工夫し、ゲーム性を付加することで、少し難しくても楽しみながら取り組めるようにしています。集中力を発揮し、繰り返しチャレンジしながら取り組むことができました。



①「エレベーターボール」

ひごを動かすことでキャップの位置や向きを調整し、ボールを上から下へ運びます。キャップの奥行きや上下の距離が全て違うので見る力を高めることができます。また右手と左手で別々の動きをするので、両手指の協応動作の向上につながります。



②「マグネットキャッチャー」

マグネットを使ってクリップを動かし、同色のキャップの中に落とします。マグネットを慎重に動かし、焦点を定めて落とさないとうまく入らないので、自ずと集中力が高まります。レベルアップして、両手で同時に操作することにもチャレンジしました。



③「ペグボード」

図版に示された位置と色を見比べながら、ボードにペグを刺して同じ形を作ります。見る力と手指の巧緻性の向上を目的としています。片付けまでの一連の流れで、一人で静かに作業に取り組むこともねらいにしています。



④「みるトレ（アプリ）」

ICT を活用したビジョントレーニングです。同じ向き、同じ形のパネルを探してタッチし、パネルを消していきます。タイムが表示されるので、自分で目標を立てたり、レベルを選んだりしながら取り組みました。